

# 2022年11月4日 第3406回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長  
 <斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」 ソングリーダー 佐久間博一 会員  
 <唱 和> 「四つのテスト」  
 <ゲスト紹介> \*国際ロータリー第2780地区パストガバナー 相澤 光 春 様  
 \*米山奨学生 王 冠 博 様  
 <ビジター紹介> \*川崎マリーンRC R12590地区パストガバナー 轟 淳 次 様  
 \*川崎マリーンRC R12590地区元地区幹事 鈴木 慎二郎 様  
 \*川崎マリーンRC R12590地区直前AG 増田 敏 雄 様  
 \*川崎マリーンRC R12590地区地区推進委員長 小山 宏 明 様  
 \*川崎麻生RC R12590地区元AG 鈴木 憲 治 様  
 <感謝状贈呈> \*三浦学苑高等学校 吹奏楽部  
 <新会員入会式> \*松岡 美 里 会員  
 <誕生日祝> \*越川 昌 光 (S.22.11.3) \*長尾 和 典 (S.31.11.3)  
 \*前川 静 子 (S.19.11.3) \*堀川 敏 毅 (S.43.11.3)  
 \*佐久間 博 一 (S.19.11.7) \*外木 祥 司 (S.27.11.7)  
 \*田村 督 (S.47.11.14) \*Wosti Loknat (S.45.11.15)  
 \*齋藤 慎太郎 (S.30.11.23) \*澤田 菊 江 (S.16.11.24)  
 \*来生 亮 (S.54.11.26) 各会員  
 <入会月祝> ・新倉 定次 ・兼城 毅 ・鈴木 之一 ・臼井 健 各会員  
 ・比護 友一 各会員  
 <会長報告> \*第4回理事役員会 報告  
 \*ガバナー事務所よりロータリーレート変更のお知らせ  
 11月1日から1ドル148円(現行145円)  
 <委員長報告> \*雑誌委員会 笠木委員よりロータリーの友11月号  
 \*親睦委員会 椿委員長より会員親睦旅行の  
 \*出席委員会 鈴木(豊)委員長より10月出席報告 10月分平均出席率 77.61%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
10月7日	115名	106名	75名(5名)	31名	8名	78.30%
21日	115名	105名	71名(4名)	34名	11名	78.10%
28日	115名	106名	71名(8名)	35名	10名	76.42%

- <幹事報告> \*第2期会費納入のお願いについて  
 <米山奨学生へ奨学金授与> \*王 冠 博 さん  
 <出席報告> \*出席委員会 鈴木(豊)委員長より11月4日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	108名	79名(5名)	29名	10名	82.41%

## <ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2590地区PG 轟 淳次様、地区資金簡易推進委員長 小山宏明様、直前ガバナー補佐 増田敏雄様、元地区幹事 鈴木慎二郎様(川崎マリーンRC)  
 前田会長を初めとする横須賀ロータリークラブの皆様、お世話になります。小沢元RI理事におかれましては轟年度に大変お世話になりました。御挨拶が遅れました事、申し訳ございません。
- ・国際ロータリー第2590地区 元ガバナー補佐 鈴木憲治 様(川崎麻生RC)  
 久しぶりのMake-upにお伺いしました。宜しく申し上げます。

- ・三 役 相澤光春パストガバナーよくお出で下さいました。本日の「街づくり」の卓話楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。
- ・比 護、大 石、八 卷、梁 井、杉 浦、小山(働)、福 西、勝 間、  
大野(働)、田 中、濱 田、波 島、畑、小佐野、佐久間、勝 見、田 邊、  
高 橋、鈴木(働)、中村(働)、上林、齋藤(働)、北 村、加藤(働)、小林(働)、徳 永、  
澤 田、飯 塚、植 田、谷、岡、小 沢、根 岸、臼 井 各会員  
国際ロータリー第2780地区パストガバナー 相澤光春様、本日は横須賀RCにお越  
しいたいただき有難うございます。卓話宜しくお願ひします。
- ・岡 田 会員 相澤PG、地区また地区戦略計画委員会では大変お世話になっています。本日はZOOMで  
の例会参加となります。よろしくお願ひ致します。
- ・八 卷、波 島、佐久間、勝 見、高 橋、齋藤(働)、江 沢、小山(働)、澤 田 各会員  
米山奨学生 王 冠博様、本日の例会もお楽しみください。
- ・小 沢 会員 川崎マリンロータリークラブ、川崎麻生ロータリークラブの皆様、ようこそ横須賀  
ロータリークラブへ。例会をお楽しみください。
- ・越川、長尾、佐久間、外木、田村、齋藤(働)、澤 田 各会員 誕生月祝いとして
- ・臼 井、兼 城 両会員 入会月祝いとして
- ・角 井、椿、八 卷、石 田、永 井、福 西、勝 間、濱 田、  
田 村、勝 見、田 邊、高 橋、鈴木(働)、齋藤(働)、小林(働)、澤 田 各会員  
松岡美里会員、ご入会おめでとうございませう。ようこそ横須賀ロータリークラブへ。  
ともにロータリーライフを楽しみませう。
- ・松 岡 会員 本日入会させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。
- ・椿親睦委員長 10月29日ー30日の親睦旅行会、無事に楽しく終えることが出来ました。  
有難うございました。
- ・齋藤(働)、齋藤(働) 両会員 先日の親睦旅行は天気もよく、食べ物もおいしく、楽しい旅でした。準備く  
ださった多くの方々、旅をご一緒していただいた皆様ありがとうございました。
- ・加藤(働)、八 卷、長谷川、木 村、松本(働)、八 木、波 島、児 玉、藤 村、勝 見、  
小 平、笠 木、渡 邊、高 橋、鈴木(働)、中村(働)、鈴木(働)、岩 崎、齋藤(働)、馬 場、  
北 村、加藤(働)、江 沢、鈴木(働)、 小山(働)、澤 田、齋藤(働)、飯 塚、猿 丸、谷 各会員  
三浦学苑女子バレーボール部、第75回全日本高校選手権神奈川県予選決勝、横浜隼人  
高校を破り初優勝おめでとうございませう！全国優勝目指してがんばれ！！
- ・高 橋 会員 三浦学苑女子バレー部、インターハイに続き春高バレーに出場します。神奈川県民のみ  
で一つでも多く上へ！！
- ・前 田 会長 今月18日には奉仕の基金プロジェクトの最終選考会があります。皆様のご出席をよろ  
しくお願ひします。

## <卓 話>

## 「街 づ く り」

国際ロータリー第2780地区  
パストガバナー 相 澤 光 春 様

皆さん、こんにちは。ふじさわ湘南ロータリークラブの相澤と申します。よろしくお願ひ申し上げます。  
前田会長とはヒューストンでの国際大会などでもご一緒し、大変仲良くさせていただいていることからお  
招きくださったのだと思います。歴史があり格式の高い大クラブである横須賀ロータリークラブにお招きい  
ただき、ありがたく思っております。また、充実感と笑顔が溢れる素晴らしいクラブであるといつも感じて  
おります。小沢一彦大先輩やJCの先輩である上林さんのお顔も拝見できました。私がガバナー補佐を務め  
た時のガバナーであった小佐野さんを始め、多くの重鎮の方々のご出席されているクラブでの卓話は荷が重  
いということを前田会長にも申し上げたのですが、これも勉強ということで参じました。

本日のテーマである「街づくり」と言いましても、内容は藤沢の街づくりと想っていたくださたく存じますので、まず藤沢のことを少しお話しさせていただきます。ご承知のとおり藤沢市は、湘南地域の最東端に位置し、全国的に有名な江ノ島、片瀬・鵜沼・辻堂海岸を有した観光都市としての性格も併せ持っています。良好な自然・住・教育環境を求める人等により第二次世界大戦前より人口が増加し続けています。東京・横浜のベッドタウンとしての性質が強く、JR、私鉄、地下鉄、モノレールの駅が存在し、利便性が高いため、湘南地域の他市よりも海から遠い内陸部の人口比率が高く、人口は湘南地域最多の44万人超となっています。江戸時代には鎌倉仏教の一つである時宗総本山である清浄光寺（遊行寺）の門前町として、東海道の6番目の宿場町・藤沢宿として、また江ノ島詣の足場として栄えました。気候も温暖であることから、南部の鵜沼・片瀬地区は明治時代中期から日本初の計画別荘地として開発され、大正期以降、皇族や政治家、数多くの学者や文化人などが居を構えたことで、別荘地・保養地・避暑地として発達し、多くの文化人の創作活動の場にもなりました。第二次世界大戦後は東京のベッドタウン化が進み人口が急増すると共に、JR、小田急、江ノ電の3つの鉄道が集まる藤沢駅を中心に商業施設が集積しています。市の南部に位置する鵜沼海岸は、古くから海水浴場が開かれ、日本一の海水浴場として知られ、戦後は厚木基地、横須賀基地の米軍の方々が休暇に鵜沼へやって来てサーフィンなどを楽しんだとの事で、日本におけるサーフィン発祥の地（諸説あり）と言われていています。地理的には、神奈川県ほぼ中央南に所在し、相模湾に面しています。旧東海道より南側は湘南砂丘地帯と呼ばれる海岸平野で、北側は相模野台地及び高座丘陵となっています。南東部は片瀬山と呼ばれる三浦丘陵の西端部となります。気候温暖な自然環境に恵まれた街であると自負しております。

私は日頃から「都市は時代と共に変化していく。」と話しております。先ほどもお話ししたように、門前町や宿場町として栄えてきた時代がありました。明治以降になって鉄道が横浜から国府津まで敷かれることとなりましたが、当時は、鉄道は火が出るから危ない。火災を招く。などということが平然と言われていたそうです。よって当時の門前町からすると、鉄道は街の外れに敷いてもらえば良いとなり、藤沢の駅というのは、街の外れにあったという逸話がある方から伺いました。都市の進化というのは、いろいろな場面でその時々状況に応じて変わっていく、進化していくと私は思っております。現在の藤沢駅南口は砂丘があったところで、まだまだ未開発の場所であったようです。南口に区画整理が入り、昭和48年頃の大店ラッシュの中で少し栄え、今日に至っている訳です。湘南地域の別荘地として明治20年代に鉄道の開通、風光明媚な景観や温暖気候、保養地として明治から昭和にかけて皇族や政界人、文化人が移り住んだことにより、土地の分譲も盛んになりました。分譲地購入のなかには三井銀行重役のご令息などもいたそうです。鵜沼には三井系の会社がたくさんあります。片瀬山という所がありますが、三井不動産により昭和44年頃から開発されました。もともとはゴルフ練習場であったようですが、三井系が開発したということで、今でも三井と関わりのある方々が多く住んでいらっしゃいます。明治19年当時海水浴は潮湯治と言われたそうです。海水浴の目的は、病気治療のための療養が主だったそうです。これも面白い話ですが、徳川二代将軍秀忠が、弟である福松丸（尾張国清洲藩主・松平忠吉の幼名）に送ったとされている書状が残されていて、腫物治療のために愛知県常滑市の大野海岸に潮湯治に来て成果があったということが書かれています。愛知県では病気療養のため海水を全裸で浴びていたようですが、そのようなことを藤沢でもやっていたようです。ただし、藤沢では全裸ではなかったようですが、これが海水浴の起源と言われていています。葉山に御用邸がありますが、最初は鵜沼に建てることを検討していたそうです。子爵の方が土地を用意していたようですが、結果として葉山に建てられました。その後、御用邸誘致の叶わなかった広大な土地を民間に払い下げ、分譲し始めました。江ノ電の鵜沼駅の西側を真っ直ぐ海に向う通りの辺りです。一区画がだいたい3千坪位で松林に面していたというのが、当時の分譲の仕方だったようです。

小沢大先輩は常に会員増強の大切さを訴えていらっしゃいますが、街づくりにおいても大切なのはやはり人口だと思います。ある程度の人口が張り付いていないと、いろいろな意味で計画を含めてうまく行きませぬ。収入・歳出を含めて事業としてもお金が回らなくなるということで、人口も会員も増えていかなければならないと思うのは私だけではないと思います。藤沢市は2010年に40万人を超えました。2015年10月に42万人超に、2020年には43万6千人、5年のスパンで見ると最初の5年で1万4千人増えています。次の15年から20年で1万3千人増えています。2021年6月に44万人を突破しました。これは藤沢市の人口推計より4年早いペースとなっています。人口増というのは一番大切です。行政の総合計画がしっかりしていないとダメだと思います。藤沢市長ですが、2代が金子小一郎氏、6代から10代ま

で同じく金子小一郎氏が務めました。金子市長は、緊縮財政と市債による資金吸収に努め、公約である黒字化を達成させ、同時に新たな財源としていすゞ自動車を筆頭に工場誘致に努めました。また、丘陵地が多く開発もしやすかったということもあるのですが、非戦災都市のため難航する中で各地区の区画整理を推し進め人口増加に努めました。現在、藤沢市が湘南地区の中核都市とされるのは、これら金子時代の公共事業の成果に負うところが大きいと思います。18代から20代は山本捷雄氏、21代は海老根靖典氏が市長を務めています。彼らが積極的に企業を誘致し、そして街づくりをした成果が今日の藤沢の人口を支えている要因であり、繁栄をもたらしたと思います。藤沢市の区画整理は地方公共団体施行、個人施行、組合施行により行われました。今日まで藤沢市による施行が13箇所、計1,045ヘクタール、坪に換算して316万坪。これには駅前南部長後とか柄沢とかいろいろなエリアが含まれています。個人施工が7箇所、計58ヘクタール、17万5千坪位になっています。これには辻堂の湘南C-X（しょうなん しーくろす）やFujisawa サスティナブル・スマートタウンが含まれています。それから組合施行が27箇所、341.86ヘクタール、103万坪の街づくりをしています。これらも現在の繁栄をもたらした成果だと思えます。

藤沢は6つの都市拠点があると言われていています。藤沢駅周辺、辻堂駅周辺、湘南台駅周辺、慶応義塾大学藤沢キャンパス周辺の健康と文化の森地区、片瀬江ノ島周辺、仮称村岡新駅周辺の6つの都市拠点を軸として将来に渡っての都市の活力の維持をし、都市的土地利用と自然的土地利用のバランスを保つこととしています。藤沢での最初の土地区画整理は、鶴沼土地区画整理事業で、住宅の誘致でした。藤沢から少し辻堂よりにはベアリング事業を主力とする日本精工という会社があります。この辺り一帯の区画整理が第二次世界大戦の軍事工場などの跡地整備の必要性から昭和18年に着手し、16年の歳月を経て昭和35年に完了しました。このエリアだけでも施工面積8万5千坪以上、総事業費は当時の金額で149万円でした。

先ほど別荘地の話をしましたが、明治時代以降鶴沼は別荘地として開発されました。当時の沿岸地域は砂丘地帯で作物があまり獲れず、半農半漁の村であったそうです。結核療養には海水浴が適しているとドイツ人の医師ベルツ博士によって提唱され、鎌倉や大磯に海水浴場が開設され、海岸地域には皇族や政治家、事業家などの別荘が建てられたそうです。鶴沼一帯の25万坪とも言われる広大な砂原は、大給近孝（おぎゅう ちかたか）子爵により先買いされ、天皇家の御用邸の候補地となりました。結果として御用邸は葉山に建てられたため、この広大な土地を分譲して開発し、1区画3千坪として分譲されたそうで、この土地が無かったら鶴沼海岸別荘地は無かったと言われていています。明治30年には江ノ島電鉄が開通、鶴沼駅から真っ直ぐ海へ向かう道が整備されました。また、当時は別荘地であった鶴沼に住む財界人らの子弟が通う学校が建設されました。湘南学園という学校です。

最後に「湘南C-Xプロジェクト」と「村岡新駅周辺まちづくり方針」についてお話ししたいと思います。

「湘南C-Xプロジェクト」ですが、湘南C-Xとは、神奈川県藤沢市辻堂駅北口周辺の再開発計画および再開発後の街の名称で、複合商業施設「テラスモール湘南」を擁しています。関東特殊製鋼の本社工場跡地を利用転換し、辻堂駅北口を中心とした多様な機能を持つ都市拠点の形成を目的に整備が進められ、面積約9万坪に移住人口2,300人、就業人口1万人を想定して、UR都市機構を事業主体として進められ、並行して辻堂駅ホームの拡張、西口改札口および跨線橋の改築、南口駅前広場の再整備なども行われました。住居人口と就業人口は当時の予定ですから、現在では少し増えていると思います。利便性の良い辻堂駅周辺ではマンションや住宅が良く売れています。辻堂駅の乗降客ですが、当初は9万人と言われていましたが、現在では12万人となっています。メイン通りの幅員は27メートルあり、辻堂駅は茅ヶ崎市民の利用も多いことなどにより、6・7・8時台にはバスが1分間隔で通っています。おそらく藤沢市の中では便が良く、バスが多く利用されていると思います。2011年11月に誕生した「テラスモール湘南」の最初の1年間の売上高は当初目標の400億円を大幅に上回る約509億円を達成しました。また、来場者数も2,370万人となり、目標の2,000万人を大きく上回りました。2018年の売上高は554億円ということです。コロナ前に比べると1割から2割減だと言います。当初の計画は400億円でしたが、1年経って蓋を開けてみると500億円、2018年には554億円に伸び、そしてコロナ禍に入り現在に至っています。雨の日は車が大変混みます。人が一杯で繁盛しています。総事業費ですが、土地区画整理事業が124億円、街路事業が30億円、駅関連の改築・再整備等が82億円で計330億円位掛かっているようです。

「村岡新駅周辺まちづくり方針」の話に移ります。新駅設置予定地は、JR東海道本線の大船駅と藤沢駅の間、藤沢駅から約2キロ。大船駅から約2.6キロに位置し、都市マスタープランにおいて6つの拠点の一つになりました。新駅周辺は鎌倉市の深沢地区と藤沢市の村岡地区との2市に跨がる街づくりとな

ります。藤沢市分で2.3ヘクタール、7千坪。鎌倉市分で31.1ヘクタール、9万4千坪で、新駅から深沢エリアの湘南モノレールの湘南深沢駅までシンボル道路で結ばれる予定です。これが鎌倉と藤沢に跨がる区画整理事業で、先月具体化に向けた会合が開かれました。街の基本となる安心安全、次代にふさわしい交通結節点という基盤の上に、地域性を生かした緑豊かな環境形成とクリエイティブ、人材や交流人口を生み育む創造的な場づくりを進めることで、「尖る創造」と「広がる創造」を実現することとしています。22年3月に土地区画整理事業、地区計画、駅前広場、公園の都市計画が定められ、これから土地区画整理事業等の作業が進められます。第1回の村岡新駅周辺街づくり協議会が22年10月25日に市庁舎で村岡らしさをどう創り出すか、ライフスタイルなど将来像の具体化に向け議論をして、街づくりのガイドラインを検討しています。事業着手は令和6年で、概ね8年間を費やして新駅開業に向けていくという見通しです。時を同じくして行政区越境型の「イノベーションゲートウェイ湘南ロータリークラブ」が2020年12月21日に誕生しました。新駅が誕生することが決まりました。そのため、新しい「まちづくり」に積極的に関わっていく活動を企画・実行して地域との関わり合いを積極的に行い、未来からバックキャストした「街づくり」に取り組むロータリークラブとして、地域経済発展に寄与することを目的としたイノベーションゲートウェイというロータリークラブが生まれましたので、期待していただきたいと思えます。

私は、都市は常に変化をしているのでその変化に応じた街づくりを推進していくことが大切であると考えています。それにはいろいろな苦勞があると思えます。新駅誘致もそうです。3分や4分走っただけで、なぜ止めなければならないのかという議論もありました。私は絶対停めるべきだと主張しました。ここに駅を作らなければ孫子の代に「親父たちは何をしていたんだ。」と言われるに決まっています。駅はあった方が良い訳です。そこから回遊性が生まれ、いろいろな交流が始まることで良い街ができて行くのです。新駅については今後2回ほど議論の機会があるので、自分なりの考えを示し、次の時代に通用するより良い街づくりをして行きたいと思っています。

取り留めの無い話になってしまいましたが、終了させていただきます。本日はありがとうございました。



<閉会・点鐘> 13:30 前田会長

週報担当 大石 朗